

平成 2 0 年度
交通局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 0 年度交通局予算要求総括表 1
- 2 平成 2 0 年度交通局経営方針 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 3

1 平成20年度交通局予算要求総括表

【交通事業会計】

平成20年度要求総額 2,397,490千円
 (平成19年度予算額 2,649,070千円)
 前年度比 9.5%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成20年度 予算要求額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 A - B
バス運行事業	2,324,001	2,578,800	254,799
バス車両定期 車体改修事業	25,250	7,750	17,500
幅広電照式バ ス停標識設置 事業	3,465	3,465	0
企業債償還金 等	44,774	59,055	14,281
合 計	2,397,490	2,649,070	251,580

2 平成20年度交通局経営方針

交通局では5カ年の「市営バス事業経営改善計画」を平成18年度から実施しています。この計画では、「平成20年度までに経常収支及び単年度資金収支を黒字化する」という目標を設定し、平成21年度には結果を検証したうえで、目標を達成できなければ民営化、達成できれば次期5カ年計画を実施し以後の経営形態について判断することとなっています。

そこで、これまでも数々の経営改善に努めてきましたが、平成20年度は結果が問われる年であり、計画の目標を達成させるために一層の経費削減や増収・増客対策に取り組むとともに、引き続き、市民・利用者の生活の足としての役割やサービスの向上を図ります。

(1) 安全運行の確保と利用者サービスの向上

- ・交通事業者の使命である安全な運行を確保しながら輸送力・効率性・利便性を確保した便利で快適なサービスの提供を行います。
- ・ホームページ等を通じた、利用者への情報提供の充実を図ります。
- ・幅広電照式バス停標識10基とベンチ4台を設置することにより利用者への利便性の向上を図ります。

(2) 「市営バス事業経営改善計画」の継続実施

- ・経営改善計画を平成18年度から実施していますが、引き続き計画に掲げた経費削減や増収・増客対策などの取り組みを着実に実行します。

(3) 計画目標の達成に向けた経営健全化の推進

- ・想定外の石油価格の高騰による燃料費の増加やマイカーの普及、少子高齢化による学生数の減少などにより毎年乗客数が減少する厳しい経営環境の中で、一層の経営改善に取り組み、計画目標の達成を目指します。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) バス運行サービスの向上

高齢化が進展する中で、高齢者の方々をはじめとする交通弱者の方々に生活の足として安心・快適なご利用をしていただくため、バス乗務員への事故防止や接遇向上等を目的とした研修等を行い、ソフト面においてもより一層のバス運行サービスの向上に取り組みます。

高齢者・障害者の方々、車椅子ご利用のお客様の乗降に配慮し、スロープ板を装備し交通バリアフリーに対応した超低床のノンステップバス(9台)やワンステップバス(41台)の導入をはじめ、車椅子対応型及びスロープ付バスが一目で分かるように、バス停に掲示の時刻表や乗合バスの方向幕及び乗り口扉近くへの  (車椅子マーク)の表示などを行ってきましたが、引き続き交通弱者の方々に利用しやすい環境整備に努めます。

信号停止や渋滞時におけるアイドリングストップや転回地での待機時間におけるエンジンカットなど地球に優しいバスの運行を引き続き推進していきます。

()内の台数は平成19年10月末現在の導入台数。

(2) 経営健全化の推進

- ・ 公営企業としての独立採算制を堅持しながら、経営改善計画の目標達成に向けて、人件費を中心とした経費の削減や貸切バス事業・広告事業等の営業活動の強化など、一層の経営改善に取り組みます。

【成果指標】

収益的収支

【目標】平成18年度決算
59百万円

平成20年度予算
3百万円

【効果】 62百万円

単年度資金収支

【目標】平成18年度決算
137百万円

平成20年度予算
38百万円

【効果】 175百万円